



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月14日

上場会社名 株式会社ビースタイルホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 302A URL https://www.bstylegroup.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三原 邦彦
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 (氏名) 加藤 勝久 (TEL) 03(5363)4400
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	8,381	—	183	—	183	—	124	—
2024年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 127百万円(—%) 2024年3月期第3四半期 —百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	115.12	95.11
2024年3月期第3四半期	—	—

(注) 2024年3月期第3四半期において四半期連結財務諸表を作成していないため、2024年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2025年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	4,086	—	1,193	—	29.2	—
2024年3月期	3,717	—	621	—	16.7	—

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 1,193百万円 2024年3月期 620百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,267	4.1	300	8.7	295	19.6	202	△41.4	172.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	1,449,600株	2024年3月期	949,600株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	一株	2024年3月期	一株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	1,078,327株	2024年3月期3Q	949,600株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明動画の入手方法)

当社は決算補足説明動画を決算発表後、速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。なお、当社は、前第3四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っていません。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、インバウンド需要の拡大や賃上げの動きに伴う雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調にあります。一方で、エネルギー価格や原材料費の高騰、為替相場における円安の進行、さらには長期化するロシア・ウクライナ情勢に起因する地政学リスクが景気に与える影響が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

当社グループの人材サービス業界の市場動向については、日本国内の有効求人倍率は1.25倍と堅調に推移しております。企業においては少子高齢化に伴う構造的な人手不足への対応が慢性的な課題となっており、採用ニーズの拡大や人材の流動化が今後さらに進むことが予想されます。また、人材の活用形態や働き方の多様化、さらには労働者の価値観の変化など、個々に最適な働き方を提供することが一層求められております。

このような状況のもと、当社グループの派遣・紹介事業におきましては、競争優位性を有するフレキシブルワーカー領域を中心に、人材紹介および人材派遣の強化を図るとともに、副業ニーズの対応にも取り組んでまいりました。

また、メディア事業におきましては、テレビCMを活用した認知度向上の施策をはじめとするサービス強化を進めてまいりました。

さらに、当社グループは世界を変えるソーシャルカンパニーとして、経営理念であるパーパス（PURPOSE）不変の存在意義は、「時代に合わせた価値を創造する」、バリュー（VALUE）大切な価値観は、「四方よし 買ってよし・売ってよし・世間よし・仲間よし」、ミッション（MISSION）果たすべき使命は、「社会課題をビジネスで解決する」、ビジョン（VISION）目指す未来は、「かかわる全ての人がしあわせ」のもとに、業績の向上と企業価値の増大に努めてまいりました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績は、連結売上高8,381,196千円、売上総利益3,582,096千円、営業利益183,427千円、税金等調整前四半期純利益183,996千円、親会社株主に帰属する四半期純利益124,141千円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来報告セグメントとしていた「フィールドワーク支援事業」は、同事業の譲渡により連結の範囲から除外しているため、報告セグメントを「派遣・紹介事業」「メディア事業」「DX事業」「その他の事業」の4区分に変更しております。

(派遣・紹介事業)

派遣・紹介事業は、豊富な経験・高いスキルを有する自走型人材の人材派遣、オフィスワーク経験豊富な主婦を中心にパート型派遣・紹介のサービスを展開しております。当第3四半期連結累計期間におきましては、人材派遣事業における稼働人数の減少に伴い、人材派遣売上が減少いたしました。一方、人材紹介事業は営業体制の拡充を目的として営業人員の増員を実施したことで、正社員の人材紹介料が伸長いたしました。しかしながら、紹介予定派遣に関しては請求単価の低下により、人材紹介売上は減少する結果となりました。なお、人材派遣事業については新規リード獲得を目的としたオウンドメディアを立ち上げ、SEO対策やコンテンツマーケティングを活用した顧客獲得施策を行っております。以上の結果、売上高が5,362,776千円、セグメント利益320,550千円となりました。

(メディア事業)

メディア事業は、しゅふの労働力を求める企業と働く条件の多いしゅふのお互いのニーズを満たした情報を提供する、求人サイト「しゅふJOB」の運営を行っております。当第3四半期連結累計期間におきましては、新規代理店の獲得や既存代理店への販促活動、さらにCM放映によるブランド認知効果が奏功し、求人掲載の受注および求人への応募数が伸長いたしました。また、2024年4月より、求人サイト「しゅふJOB」の一部利用料に関する料金改定を実施し、これによりサービスの中長期的な安定運用を図るとともに、ユーザーへの提供価値向上のための収益性の強化を行っております。以上の結果、売上高が2,521,133千円、セグメント利益767,974千円となりました。

(DX事業)

DX事業は、BPA（ビジネス・プロセス・オートメーション）事業、ITエンジニア派遣・業務委託サービス事業を展開しております。当第3四半期連結累計期間におきましては、BPA事業における稼働人数が堅調に推移したほか、ITエンジニア派遣・業務委託サービスではビジネスパートナーの人材を活用した受注獲得が伸び増収となりました。以上の結果、売上高は602,260千円、セグメント利益46,173千円となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、障がい者雇用推進、当社グループ内業務代行サービスを提供しております。売上高は73,726千円、セグメント利益18,284千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ369,148千円増加し、4,086,760千円となりました。流動資産合計は前連結会計年度末に比べ439,764千円増加し3,570,114千円となりました。これは主に公募増資等により現金及び預金が587,128千円増加したことによるものであります。固定資産合計は前連結会計年度末に比べ70,615千円減少し、516,646千円となりました。これは主にPCの購入に伴う有形固定資産およびソフトウェア開発による無形固定資産の取得により35,238千円増加いたしました。減価償却費による102,295千円の減少によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ203,046千円減少し、2,893,075千円となりました。これは主に未払法人税等が59,957千円、未払消費税等が53,500千円増加した一方、長期借入金107,100千円、未払金が73,615千円、賞与引当金が44,434千円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ572,195千円増加し、1,193,685千円となりました。これは主に公募増資および新株予約権行使により資本金が223,114千円、資本剰余金が223,114千円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が124,141千円増加し、新株予約権が1,149千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、2024年12月27日に公表しました通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,908,129	2,495,257
売掛金	1,113,752	976,883
仕掛品	-	3,050
その他	117,868	109,613
貸倒引当金	△9,400	△14,691
流動資産合計	3,130,350	3,570,114
固定資産		
有形固定資産	222,300	205,122
無形固定資産		
ソフトウェア	245,474	203,770
その他	32,116	23,942
無形固定資産合計	277,591	227,713
投資その他の資産		
投資有価証券	46,035	30,030
繰延税金資産	24,489	19,527
その他	36,844	46,752
貸倒引当金	△20,000	△12,500
投資その他の資産合計	87,369	83,810
固定資産合計	587,261	516,646
資産合計	3,717,611	4,086,760

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	401,767	377,019
1年内返済予定の長期借入金	142,800	142,800
リース債務	11,981	12,100
未払金	489,299	415,684
預り金	165,631	146,783
未払法人税等	3,798	63,756
未払消費税等	146,268	199,768
賞与引当金	101,256	56,822
その他	11,558	8,547
流動負債合計	1,474,361	1,423,283
固定負債		
リース債務	22,380	13,290
長期借入金	1,521,500	1,414,400
資産除去債務	40,899	40,899
長期末払金	36,981	1,202
固定負債合計	1,621,761	1,469,792
負債合計	3,096,122	2,893,075
純資産の部		
株主資本		
資本金	86,405	309,519
資本剰余金	12,155	235,269
利益剰余金	518,440	642,582
株主資本合計	617,000	1,187,371
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,340	6,313
その他の包括利益累計額合計	3,340	6,313
新株予約権	1,149	-
純資産合計	621,489	1,193,685
負債純資産合計	3,717,611	4,086,760

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	8,381,196
売上原価	4,799,099
売上総利益	3,582,096
販売費及び一般管理費	3,398,669
営業利益	183,427
営業外収益	
受取利息及び配当金	327
助成金収入	13,629
貸倒引当金戻入額	1,500
その他	530
営業外収益合計	15,988
営業外費用	
支払利息	13,347
支払手数料	750
その他	1,322
営業外費用合計	15,419
経常利益	183,996
特別損失	
固定資産除却損	0
特別損失合計	0
税金等調整前四半期純利益	183,996
法人税、住民税及び事業税	55,913
法人税等調整額	3,940
法人税等合計	59,854
四半期純利益	124,141
親会社株主に帰属する四半期純利益	124,141

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	124,141
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	2,973
その他の包括利益合計	2,973
四半期包括利益	127,115
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	127,115

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年12月27日付で東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。この上場にあたり、2024年12月26日を払込期日とする公募（オーバーアロットメント方式による募集）による新株式200,000株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ190,440千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が309,519千円、資本剰余金が235,269千円となっております。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

(セグメント情報等)

当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (注2)	合計
	派遣・紹介 事業	メディア 事業	DX事業	その他の事 業 (注1)	計		
売上高							
外部顧客への売上 高	5,330,387	2,503,067	544,499	3,241	8,381,196	—	8,381,196
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	32,388	18,066	57,760	70,484	178,699	△178,699	—
計	5,362,776	2,521,133	602,260	73,726	8,559,895	△178,699	8,381,196
セグメント利益	320,550	767,974	46,173	18,284	1,152,983	△969,556	183,427

(注) 1. 「その他の事業」は、障がい者支援を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△969,556千円は、セグメント間取引消去等の調整額及びグループ管理費が含まれております。

2 報告セグメントの変更等に関する情報

第1四半期連結会計期間より、従来報告セグメントとしていた「フィールドワーク支援事業」は、同事業の譲渡により連結の範囲から除外しているため、報告セグメントを「派遣・紹介事業」「メディア事業」「DX事業」「その他の事業」の4区分に変更しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)	
減価償却費	102,295千円